

ブラキムラとめぐる！仙台城下町ボヤージュ 【2022年1月4日放送分・虎屋横丁／糠蔵丁】

毎月第1火曜日に放送しています。歴史家で街歩きの達人・ブラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱=辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。2022年も宜しくお願ひ致します。

- 歴史家で街歩きの達人・ブラキムラこと木村浩二さん。今年も元気に、歴史散歩の解説をして頂きます。「芭蕉の辻」から奥州街道を北に向かう旅がスタートしました。今回は広瀬通を渡ります。
- ディズニーストアの西側にあったのが「御糠藁藏(おんぬかわらぐら)」。糠藁って、色々な物が藩の管理を受けていたんですね！
- ちなみに同じ一番丁でも、大町から南側は、塩の蔵があった事から通称「塩蔵丁(しきうちょう)」と呼ばれていました。その蔵があったという場所…青葉通沿いLOUIS VUITTONの西側に建つ商業ビルが、蔵をイメージした「クラックス」というわけです。色々つながって来ますね！私も木村さんの解説を聞いて、驚きました。
- 今回の辻標「虎屋横丁／糠蔵丁」は、一番町四丁目商店街の中ほど、老舗の果物屋さんの前にあります。コーナーで訪ねる19本目の辻標です。

- ところで、おなじみ虎屋横丁の名前の由来って、ご存知でしたか？長崎の医師が伊達家の侍医を志願してきたが、採用されなかつたためこの横丁に薬種問屋を開きました。その店先に、彼が郷里より持ち込んだ木彫りの虎が置かれたため、虎の置物がある薬屋の横丁＝虎屋横丁と呼ばれるようになったとか…。
- 残念ながら、その店がどこにあったか詳しい場所は（候補地はあるものの）特定できていないそうです。それらしい痕跡も発見できていないうで、今後の調査・研究による新しい発見が待たれるところです。
- <文・佐々木淳吾>

